

# KOBE YMCA NEWS

神戸青年 No.639

2015.9・10 Sep・Oct

発行所 日本YMCA同盟 東京都新宿区本塩町7  
THE YMCA神戸版 発行人/井上 真二 編集人/田村 光  
神戸YMCA 〒650-0001 神戸市中央区加納町2-7-15  
TEL. 078-241-7201 FAX. 078-241-7479  
URL <http://www.kobeymca.org> 印刷/わかばやし印刷



神戸YMCA  
年間聖句

実に、あなたがたこそ、わたしたちの誉れであり、喜びなのです。(テサロニケの信徒への手紙 一 2:20)

## ファミリーウエルネスセンター 開設1周年をむかえて

神戸YMCAファミリーウエルネスセンターがオープンして1年が経ちます。ファミリーウエルネスセンターの歩みはまだまだ赤子のようです。両手と両足を踏ん張ってハイハイをしているようです。幼い歩みではありますが、毎日の成長が感じられます。プールの中で初めて石をひろうことができた子どもが、お母さんに『石ひろえたで!』とうれしそうに叫ぶ姿。体育室で高い平均台を一人で渡りきった後、振り返ってリーダーを見る、子どもたちの誇らしげな顔。『ねえリーダー、平泳ぎに挑戦したいから、来月から2ヶ月平泳ぎにしよう』と提案してくださる成人メンバー。毎日に決まった時間にやって来て、『今日も無事来れたよ。みんなもがんばってちょうだい。』とニコッと笑ってフロントでカードを渡されるベテランのメンバー。『私、子どもの水泳指導の手伝いできると思うねん。バリアーダーって呼んでもらおうかな?』と嬉しそうに話される水泳に来ている女性の成人メンバー。片言の日本語で、『休みはいつですか? お金はいくらですか?』と一生懸命質問をする外国の方と、その質問に身振り手振りで答えようとするフロントスタッフ。メンバーにとっても、ボランティアリーダーにとっても、スタッフにとっても、YMCAの中で毎日一つずつ喜びがあり、その喜びが少しずつみんなのものになっています。ファミリーウエルネスセンターの歩みは、ひとり一人の喜びがみんなのものになることで、強められると感ずることができる毎日です。メンバーや保護者、タンポポくらぶ、デイサービスの利用者みなさんと一緒に成長させていただけに感謝です。

### ウエルネス活動の現場から…

昨年9月にオープンしてからあっという間に1年が経ちました。成人会員の皆さんが活動されている現場では多くの言葉をいただいています。「近くにYMCAができてよかった」「夫婦で一緒に痩せることができ、健康になった」「家族で楽しんでいます」「新しい仲間ができた」などここには書ききれないほどです。最初は個々の目的から始まった



活動が、仲間とともにYMCAで運動を楽しむことで個々の目的達成だけでなく、さらなる付加価値を得ることができているのだと感じています。また、各自のトレーニング後やスタジオでのプログラム終了後、率先して汗拭きやモップがけをしにくださる姿もありま



す。このようなボランティアな行動がYMCAを支える原動力であるのだと思います。これからは会員の皆さんの声に耳を傾け、会員の皆さんと共に歩いていくYMCAでありたいと思います。

### 「ふっとぷりんと」のメンバーから…

70年前は戦争中で運動場さなかつたので、運動会もなかつた。今YMCAに来て運動が出来るのは、少女時代に戻ったようで嬉しい。そんな時間が今までにはありませんでした。YMCAの若いスタッフが丁寧に教えてくださり、自分も若返ったようで幸せを感じています。膝の痛みもとれ、歩けるようになりました。手術も受けずに済みそうでとても嬉しく思います。

(デイサービスふっとぷりんと 南 寿榮さん 83歳)



戦争がなかったら今の人たちがみたいに自由な暮らしが出来たのに。戦争という最悪な時代が青春だったので今が極楽に思う。今の時代は平和すぎて贅沢。ここへ通えるのも勿体ないくらい幸せ。体調確認もしてもらえるので嬉しい。

(デイサービスふっとぷりんと 島本 利男さん 90歳)



### 「幼少年活動」のメンバーから…



2歳の頃からYMCAのプールに来ているアクアティックドルフィン水泳メンバーの望明くん。

一番好きな泳ぎ方は?と聞くと、「クロール!」と元気よく答えてくれました。そんな中、現在はトビウオのワッペンでパタフ

ライを練習中。「難しい!」と言いながら、練習に励んでいます。ファミリーウエルネスセンターのプールの印象を聞くと、「前の三宮会館のプールより綺麗で泳ぎやすい!」「広くなった!」と答えてくれました。イルカワッペン目指して、日々練習を頑張っています!



## 第18回 神戸YMCAインターナショナル・チャリティーラン2015

集まった支援金で「日本中の障がいのある子どもたちがYMCAの夏のキャンプに参加できるように!」との願いから、1983年に東京で始められました。今年で18回目を迎える大会に、ぜひ、ご参加ください!

日時: 2015年11月3日(火・祝) 9:00~15:00

会場: しあわせの村(運動広場およびジョギングコース)

種目: 小学生駅伝(4・5・6年生、1チーム4名、4.9km)、1/10マラソン(中学生以上、個人タイムレース)、グループラン(原則5名以内のグループでチーム編成、2.0km)、1/100マラソン(記録会)



# 西宮YMCA保育園



西宮YMCA保育園では、7・8月は毎日プール遊び、水遊びをします。幼児クラスの子どもたちは7月の最後の1週間は「夏の遊び週間」と銘打ち、プール、水遊びはもちろん、泥んこ、ボディペインティングなど夏ならではの遊びを楽しみます。泥んこといっても西宮YMCA保育園は土の園庭ではないので、砂場の中に水を入れて泥のプールのような中で遊びます。初めは山を作ったり道を作ったりしていたのですが、だんだんと体につけてみたり、ついには寝転んで泥を背中にのせてもらい泥んこバック状態の子どももいました。ボディペインティングも徐々にダイナミックになり、顔や髪の毛まで塗って大変身！異年齢保育をしていることもあってお兄さん達がやっていることを一緒にするので、小さい子どもも大胆に遊べる子どもが多くたくさんの刺激を受け合っています。自分達で遊びをどんどん広げていく子どもたちを見て本当に逞しさを感じ、このような体験が一人ひとりを成長させてくれるのだなあと実感しています。これからも神様の守りの中、ますます子どもたちのいきいきと輝く笑顔があふれる保育園としてみんなで力を合わせて歩んでいきたいと思っています。



# I'm a Partner Camp

今夏も7月26日～7月30日、福島に住む子どもたちと、余島で4泊5日のキャンプが行われました。夏の「パートナーキャンプ」は、コープこうべ、兵庫県ユニセフ協会、神戸YMCAが共催する「福島の子ども保養プロジェクト」も同日開催され、小学生62名が瀬戸内の豊かな自然の中で、水泳、カヌー、釣り、アーチェリー等、プログラムをサポートするパートナー（ボランティア）の方々と共にたくさんのことに挑戦できました。ある参加者からのお手紙を紹介します。「このようなきかくを考えていただき、ありがとうございます。私は今まで以上に自然が好きになりました。この思いを忘れずに生活していきたいです。私たちがどれだけ愛されているか分かりました。次のきかいもよんでください。」

多くの方々にご支援ご協力いただき、心より感謝申し上げます。



～お支えありがとうございました～

パートナーお一人おひとりの皆さま・サントリーホールディングス(株)・ladies & Gentlemenよしましよ・学校法人啓明学院・生活協同組合コープこうべ・兵庫県ユニセフ協会・NPO法人ルワンダの教育を考える会(株)光陽社・(株)毛利マーク・(株)Silkmaster・non-standard world, Inc.・ワイズメンズクラブ西日本区六甲部・(公財)日本YMCA同盟

# 用海育成センター



用海育成センターでは、現在120名の児童を保育しております。児童は夏休みになると、センターで過ごす時間も多くなりますので、毎年育成センターではさまざまな行事を企画しています。

特に子ども達に人気があるのが、昼食作りです。「ばくだんおにぎり作り」では、自分の好きな具材をいれて、大きなおにぎりを作って食べます。子どもによっては自分の顔の大きさくらいの大きなおにぎりを作って食べている子どももいます。また「カレー大作戦」では、2日間にかけて行事を行います。1日目はカレーの具材をグループで相談



し、買出しにいきます。2日目に具材を洗う・切る・炒める・煮るの行程を分担して行い、グループオリジナルのカレーを作ります。チョコレートや蜂蜜、

りんごなどなど…隠し味に入れる調味料もそれぞれで違うので、個性豊かなカレーが出来上がります。子ども達もいろんなグループのカレーを食べ比べて、「このグループのカレーめっちゃ美味しい!!」「何入れたらこんなに美味しいの?」など会話が飛び交い、いつも大盛り上がりです!

これからも子ども達のキラキラした笑顔を守っていききたいと思います。

# ちとせ幼稚園

「YMCA交流会」が行われました。



YMCAには、幼稚園、保育園、こども園がありますが、YMCAには、たくさんの仲間がいることを心と体で感じて、仲間との出会いを喜び、遊びや生活を共にする中で安心感を感じて欲しいと願い、年長児は年間を通して各園の園児と「YMCA交流会」という交流の機会をもっています。

今年も「YMCA交流会」が行われました。1学期は、全ての園の年長児が一度に集まるのではなく、園ごとに日を決めて出かけたり、迎えたりする時を持ちました。

神戸YMCAちとせ幼稚園では、6月9日に西神戸YMCA幼稚園の年長さん、7月8日にはYMCA保育園、西神戸YMCA保育園、YMCAこども園の年長さんを迎えることができました。当日まで子どもたちは、「どんなお友だちが来てくれるのかな?」

「分からんことがあったら教えてあげなあかん!」「早く遊びたいな!」と張り切ったり、心待ちにしたりしながら過ごしていました。少しドキドキしていたり、目を輝かせて喜んだりしながら、当日お友だちを迎えました。両日体育館でミニ運動会を開催し、玉入れやボール運びレース、バランスゲームなどで遊びました。体をたくさん動かす中で、子どもたちは自然と言葉を交わしたり、協力したり、喜び合ったりする姿がありました。「また遊びにきてね!」「次は保育園に行ってみたいな」などと、また再会できることを楽しみにしています。



## ★★ 個人消息 ★★

【採用】 8/1 東 仰(ひがし あおぎ)さん YMCA保育園

### ハンドベルと落語のスペシャルコンサート

ベルクワイアー誕生から35年、神の祝福とYMCAの支えに心から感謝しています。

私共はYMCA会館建築にあたり、2013年からコンサートを全て建築支援の為として捧げて来ました。2014年には「スペシャルコンサート」を企画。今年も7月11日(土)午後、桂福丸氏の英語落語などを組合せ、第二回を開催。リコーダーアンサンブルと共演した昨年同様、大いに楽しんで頂き、今回も多くのお金を捧げることが出来て感謝一杯です。



### ディンドンリンガーズ、5回目の台湾公演

去る7月31日から8月3日まで、神戸YMCAに属するハンドベルグループ、ディンドンリンガーズが5回目の台湾公演を行いました。今回は、台南、彰化、南投の各都市でコンサートが開催されましたが、各地のYMCAが周到な準備をしてくださると共に手厚い接待を受け、台湾におけるハンドベル音楽の発展にも寄与することとなりました。



台南では、ディンドンリンガーズの台湾公演をきっかけとして発足した台湾ハンドベル協会とのジョイントの形でのコンサートでした。台湾のハンドベル界が充実し発展していく様子を拝見することとなり嬉しいことでした。彰化、南投の各市でも初めてのコンサートで盛り上がり、彰化では障がいを持つ方々が、南投では高齢の方々が多く招かれて来られ、共に「天使の声」のようなベルの音を楽しんでおられました。台湾の方々からは6回目の訪問を熱望されつつ帰国しました。

## 灯台 No.3

Light House



総主事 井上真二

### 「スポーツの秋」

スポーツの秋という言葉の由来には諸説あるようです。1927年9月25日の朝日新聞でスポーツの秋という見出しが大学のレガッタレースと小学生のサッカー大会の記事に使われていた、1964年10月の東京オリンピック開催を記念して「体育の日」が制定された頃からスポーツの秋と言われるようになった、身体を動かすには最適な気温で代謝を高めるのに最も適した季節だから、等々です。この10月に「スポーツ庁」が正式に創設されることになり、文部科学省スポーツ青少年局を中心に各省庁のスポーツ関連部門が集められ新しい庁が誕生します。設置の目的は2020年東京オリンピック・パラリンピックのためだけではなく、スポーツ行政の効率化が目的で、学校体育は文部科学省、リハビリとしてのスポーツや障害者の健康増進は厚生労働省、スタジアムや体育館など運動施設の整備は国土交通省、スポーツを通じた国際交流は外務省、プロスポーツ運営やイベント振興を通じた経済活性化は経済産業省が、というような複数の省庁の施策を総合的に推進することとされています。1961年に制定されたスポーツ振興法を2011年にスポーツ基本法に改定し、国が長期的に行うべき基本政策が策定され、その後、オリンピック・パラリンピックの東京誘致にも成功しました。このような国レベルの動きだけではなく地域や個々においてもスポーツに対する価値意識は多様に変化を続けています。「する」スポーツだけではなく、「みる」スポーツ、そして「ささえる」スポーツへと場面、場面でのスポーツへの関わりが変容し、拡大、深化しています。土曜日はヴィッセル神戸の応援、日曜日は仲間と六甲山ハイキング、11月は神戸マラソンのボランティアという方は珍しくありません。

子どもたちはもちろん、大人も1年中、そして生涯にわたってスポーツに親しんだり、関わったりできるようなライフスタイルが普通になった今、スポーツの秋という言葉のお役目も終わりになるのでしょうか。

## クリスマスコンサートのお知らせ

神戸YMCAベルクワイアー

指揮者：阿部望

神戸YMCAベルクワイアー クリスマス・コンサート2015

2015年12月23日(水・祝)午後2:30開演(開演時刻にご注意ください)

場所：灘区民ホール

チケット：1,800円(当日券2,000円)

### 新会館建築募金(感謝)

(前号掲載以降~7/31現在)

古川一郎、財家幸、村山盛嗣、保住咄夫、武田建、三輪武、丹家元陽、中野廣子、塚本哲夫、松井多美子、中原万貴、本田淳代、神戸西ワイズメンズクラブ、小野勅紘、高谷泰市、中嶋知子、富川和彦、熊谷親啓、松田健之介・松田喜久子、田中宏明、足立成美、勝木洋子、本城智子、福井真佐代、信川須美子、山崎往夫・山崎弥生、宗行孝之介、神戸YMCAベルクワイアー、間勝也、延原照代、島田保子、社会福祉法人奈良YMCA福祉会、林秀彦、濱田勉、山内一郎、星野昌枝、谷川寛、春藤和子、星野昌枝、谷川寛、他

〈敬称略・順不同〉

### 文部科学大臣表彰

水野雄二顧問(前総主事)が専修学校教育功勞として、「文部科学大臣表彰」を受けられました。

7月10日(金)に東京で授賞式がありました。

### ソナタ「奏鳴曲」が冊子になりました

神戸YMCA前総主事 水野雄二さんが、神戸青年に連載していた「奏鳴曲」をまとめて、「時に適って」という小冊子になりました。ご希望の方は、本部事務局(241-7201)までお問合せください。(50部、先着順とさせていただきます。本体は無料、郵送希望の方は着払いとさせていただきます)



「多様性を受け入れ、違いを認め合える心」を若者の中に育ててくれたのではないかと思っています。シアトルで暖かく我々を迎え入れてくださったホストファミリー、献身的に様々な準備をしてくださったシアトルYMCAスタッフ・ボランティア、大切な子どもたちを送り出してくださった保護者の皆様、このプログラムに関わってくださった全ての方々に心より感謝を申し上げます。ありがとうございます。



ファミリーウエルネスセンター ☎078 (241) 7202  
 YMCAホームヘルパーの事務所 ☎078 (241) 7237  
 ランゲージセンター ☎078 (241) 7204  
 専門学校 ☎078 (241) 7203  
 西宮YMCA ☎0798 (35) 5987  
 三田YMCA ☎079 (559) 0075  
 余島野外活動センター ☎0879 (62) 2241  
 デイキャンプ&コミュニティサービス(兼キャンプ事務局) ☎078 (241) 7216  
 国際・奉仕センター ☎078 (241) 7204  
 ウエルネスセンター学園都市 ☎078 (793) 7401



# Information

西神戸YMCA ☎078 (793) 7402  
 西神南YMCA ☎078 (993) 1560  
 須磨YMCA ☎078 (734) 0183  
 YMCA保育園 ☎078 (794) 3901  
 西宮YMCA保育園 ☎0798 (35) 5992  
 西神戸YMCA保育園 ☎078 (792) 1011  
 神戸学園都市YMCAこども園 ☎078 (791) 2955  
 YMCAちとせ幼稚園 ☎078 (732) 3542  
 ちとせ保育ルーム ☎078 (732) 3542  
 西神戸YMCA幼稚園 ☎078 (997) 7705  
 西宮つとがわYMCA保育園 ☎0798 (26) 1016

## 65年目の 余島キャンプ

今年も多くの子どもたちがやって来ました。蝉の鳴き声に負けない歌声と笑い声！ 真っ黒に日焼けした顔に白い歯！ みんな、また余島で会いましょう！  
 キャンプの詳細は「余島日記」へ

<http://yoshima-blog.org/>



## 富士登山キャンプ

去る7月23日～27日、日本YMCA同盟東山荘において、2020年に迎えるYMCAキャンプ100年へのアプローチとして、大阪、京都、滋賀、和歌山、神戸のYMCA合同富士登山キャンプが実施されました。

32名の参加者、7名の各Yスタッフ・リーダー、そして東山荘ネイチャースタッフが、「どんなときでもあきらめられない」「何があっても楽しく」「どんな天気もいい天気」をテーマに、7月25日8:50登山スタートし、山小屋(7合目)に1泊、翌日7月26日7:36、全員無事に登山し、達成感に満ち溢れたキャンプとなりました。



## Seattle YMCA Global Teen Program 2015

7月21日～31日、パートナーであるアメリカ・シアトルYMCAより高校生13名と引率者3名が来日しました。滞在中は、広島での平和学習や余島キャンプ場訪問、YMCAの子どもたちやホストファミリーとの交流を持つことができました。



## JCCNC TAKAHASHI Program = Fellowship Program 2015

7月24日～7月29日、アメリカ・北カリフォルニア日本文化コミュニティセンターより高校生10名が来日し、ホームステイをしながら、YMCA保育園、児童養護施設、高校、人と未来防災センターを訪問して交流活動を行いました。



## 多文化共生セミナー

8月10日・11日、JICA関西にて第12回多文化共生のための国際理解教育・開発教育セミナーが開催され、約130名の方が各分科会に参加されました。神戸YMCAからは平和をテーマにロニー・アレキサンダー先生(国際委員)にご協力いただきました。



ウエルネスセンター学園都市

## アクアティッククラブ・夏季水泳講習会

～自ら学び、水から学ぶ、仲間と共に～

初めてのYMCAプール、不安いっぱいプール、お友だちと楽しく過ごしたプール、潜ることができたプール、毎日が待ち遠しいプール、目標のワッペンを目指すプール、リーダーに励まされたプール、悔し涙を流したプール、目標のタイムを切るためにがんばったプール、目的・目標は、みんな違うけれど、みんな一生懸命がんばった夏休みのYMCAプール。



## 宝くじ協会 テント寄贈

(財)日本宝くじ協会より、余島野外活動センター、三田センターへ青少年教育プログラムのための宿泊用テント11張、神戸学園都市YMCAこども園へ地域奉仕プログラムのための集会用テント4張を寄贈いただきました。海や山でのキャンプや、地域の親子を対象にした園庭開放や行事等に使用します。

